

『ゆるりっと会』活動報告

2012.6.28

井川 景子

避難者交流会『ゆるりっと会』の始まり

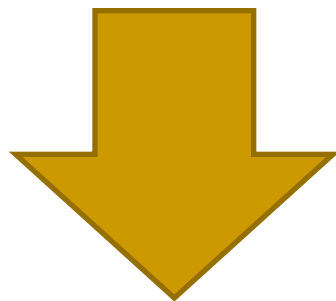
- 東北3県以外からの自主避難者
 - 交流会に参加するのは場違いではないかという遠慮
 - その多くは子育て世代
 - 愛知に身寄りのない人も多い

誰にも頼れない孤独感

避難者交流会『ゆるりっと会』の始まり

■ 避難者自らが発案・企画

きっかけは支援センターに送られた
一通の手紙



出身地に関係なく集まれる交流会を
呼びかけからプログラム構成まで避難者主体で考案

『ゆるりっと会』の目的

- 参加者が心情を吐露しやすい空間
同じ立場の自主避難者同士だから言えること

・・・その手段として

- 美容をテーマにした企画
- 安心できる食事と託児

第一回ゆるりっと会

参加呼びかけ
チラシ
(一部抜粋)



参加者募集

出身県に関係なく
同じ体験をして 同じ愛知にいる...
きっと家族を想う気持ちも同じはず

2/12 (日)

ふるさと
交流会

第1回「ゆるりっと会」で集まりましょう!



栃木県から避難して来た私は交流会に参加した事がありません。自分は場になじめないのではと感じていたからです。でも愛知に来られている皆さんとお会いしたいと思っているので、気軽に集まれる 楽しい会になればと思っています。

そして毎日頑張っている お父さん、お母さん... リラックスの ひととき 欲しいですよね

希望者には **ハンドマッサージ** (10分程度)

出会って、お話しして、リラックスして、また明日から同じ愛知で ゆっくり のんびり 頑張りたい方々
私と同じ様に感じていた方々や色々な理由で 今まで交流会に参加した事がない方にも
是非遊びに来て欲しいです。みな様のご参加 バイロお待ちしております。老若男女問いません😊

※ゆるりっと会の「ゆるりっと」は、ゆる〜り ゆるりと焦らずにこう  と思い名付けました。

参加者の反応

- 孤独を感じていた自主避難者同士が出合い、感情を分かち合うことができた

参加者の反応

■ 初めて知った支援者の存在



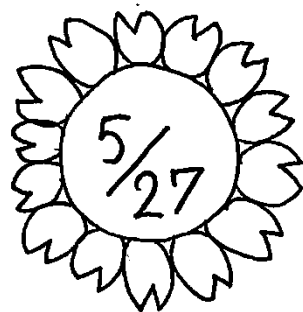
経験の浅い多くの支援者にとって
初めて接する避難者の存在⇒親近感

■ 近くにいる同じような子育て世代 の避難者との出会い

■ 充実した託児による安心感

第二回ゆるりっと会

参加呼びかけ
チラシ
(一部抜粋)



第2回 ゆるりっと会 in 小牧

グッと堪えて、冬が過ぎ 震災から一年経過しました。
春が来て、桜が咲いて、緑が出て... 毎日毎日当たり前の様に過ごしています

でも心の中には まだまだ 沢山の想いがありますよね
被災者とくらたえない気がする... でもバに傷は確実にある...

あの日の事、あの日から今の事、忘れないで欲しい...
沢山の想いを胸に抱えられ、今居る 愛知県での出会いを大切に一緒に過ごしていきましょう

...でも
この
愛知でいい

友だちに
会いたい
さみしい

大丈夫！ みんなで つながれば

なんか
つなが
るめた

ゆるりっ
とできる
自分の
居場所

去る3月に開催された第1回 ゆるりっと会では、うれしい出会いが沢山あり笑顔いっぱいの会となりました。

前回では約半数の方が「交流会」に初参加の方達、

同じく約半数の方が 栃木県から自主避難されている私と同じ関東からの自主避難の方達でした。

ゆるりっと会に初参加の方も、2度目の方も、交流会自体初めての方も

みなさんで一緒に「ゆるりっと会」で集まりましょう！！

だって あの日を同じ経験して、同じ愛知県にいる仲間なのですから...



参加者の心境の変化～第一回との違い～

- 「被災者同士」から「友」へ

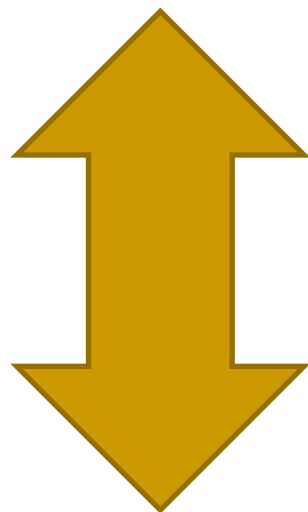
- 地元に戻る避難者の出現

「帰りたいけど帰りたくない、でも戻る」という気持ちへの共感

- 放射能からわが子を守るという覚悟と不安

参加者の心境の変化～第一回との違い～

愛知への慣れ親しみ



故郷への想い

避難者の求めるもの

- 避難者同士のつながりの強化
避難者同士だから分かり合えること